2022年度　日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
企画制作演習Ⅱ											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習+実技	時間数	70	単位	2
担当教員	原扶貴子			実務経験	有	職種	俳優				

授業概要

観客や視聴者を意識した芸術作品を企画し制作することを学ぶ。

到達目標

多様化する芸能界において、これから迎える新技術に対応していくべく、時代と共にある手法を体験しながら企画制作演習Ⅰで養われた感性を用いつつ、舞台実習や他の科目で学んだ役者としての技術を併用しながら、役者にとってどういった方法で自己表現をすることが有効かを考え、実践できる能力を養い、セルフプロデュースを理解する。

授業方法

個人ワークから始まりグループワークへ移行していく。演劇のメソッドとして、インプロビゼーションを取り入れつつ企画・構成を考えながら進める。自己の表現と他者の表現の違いを意識しながらよりよい表現方法を模索し、セルフプロデュース能力を育成。個人での企画制作とグループ単位での企画制作の相違点を理解し、一つのコンテンツを仕上げ、自己表現のあり方を習得することを目指す。

成績評価方法

積極的な授業参加、事前準備の有無、授業時間内に行われる発表内容について総合的に評価する。

履修上の注意

コミュニケーションを重視し、役割分担等、得意分野に限らず、主体的意思の元に行動し学ぶ姿勢を持つ学生を高く評価する。自らが考え、答えを導き出す事に重きを置き、積極的に参加することを求める。理由のない欠席は認めない。恒常的に出席することが基本原則である。課題として課する物の提出は必ずする事。授業時数の4分の3以上出席をしない者は定期試験を受験する資格はないものとする。

教科書教材

レジェメ・資料は必要に応じて配布する。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

回数	授業計画
第1回	改めてセルフプロデュースを考える
第2回	その他のコンテンツについて
第3回	ラジオドラマ制作（1）

2022年度　日本工学院八王子専門学校	
声優・演劇科	
企画制作演習Ⅱ	
第4回	ラジオドラマ制作（2）
第5回	ラジオドラマ制作（3）
第6回	ラジオドラマ制作（4）
第7回	ラジオドラマ制作（5）
第8回	ラジオドラマ発表・意見・討論
第9回	特技について考える
第10回	特技発表・意見・討論・まとめ